Acer ICONIA W5
ユーザーガイド

目次

安全かつ快適にお使いいただくために

安全に関するご注意

以下の内容を良くお読み頂き、指示に従ってください。この文書は将来いつでも参照できるように保管しておいてください。本製品に表示されているすべての警告事項および注意事項を遵守してください。

製品のお手入れを始める前に、電源を切ってください。

本製品を清掃するときは、AC アダプターとバッテリーを外してください。液体クリーナーまたはエアゾールクリーナーは使用しないでください。水で軽く湿らせた布を使って清掃してください。

警告

アクセスに関するご注意

電源コードを接続するコンセントは、装置からできるだけ近く、簡単に手が届く場所にあることが理想的です。装置から電源を外す場合は、必ずコンセントから電源コードを外してください。

装置取り外しの際のプラグに関するご注意

電源コードを接続したり、外したりする際は、次の点にご注意ください。コンセントに電源コードを接続する前に、電源ユニットを装着してください。

コンピュータから電源ユニットを外す前に、電源コードを外してください。

システムに複数の電源が接続されている場合は、電源からすべての電源コードを外してください。

電力の使用

- ラベルに表示されている定格電圧の電源をご使用ください。ご不明な点がある場合は、弊社のカスタマーサービスセンターまたは契約されている電力会社にお問い合わせください。

- 電源コードの上に物を置かないでください。また、電源コードは踏んだり引っ掛けやすいところに配置しないでください。
- 延長コードを使うときは、延長コードに接続された電気製品の定格電流の合計が延長コードに表示された許容の定格電流以下になるように注意してください。また、コンセントに差し込んだすべての製品が定格電流の合計の許容範囲を超えないようにご注意ください。
- 複数の装置をテーブルタップなどを使用して 1 つのコンセントに接続すると負荷がかかりすぎてしまいます。システム全体の負荷は、1 つのコンセントあたりの容量の 80% を目安にこれを超えないようにしてください。テーブルタップを使用する場合は、テーブルタップの容量の 80% を越えないようにしてください。
- 本製品の AC アダプターにはアース線付き 2 ピン電源プラグが付いています。電源プラグのアース端子をコンセントのアース端子に接続してください。機器の故障により、万一漏電した場合でも感電を防止することができます。
- ***警告！*接地ピンは安全対策用に設けられています。正しく接地されていないコンセントを使用すると、電気ショックや負傷の原因となります。**
- ***注意：*アースは、本製品とその近くにある他の電気装置との干渉により生じるノイズを防止する役割も果たします。**
- システムは 100 から 120 ボルト、または 220 から 240 ボルトで使用することができます。システムに同梱されている電源コードは、システムを購入された国 / 地域の規格に準拠したものです。海外 / その他の地域でシステムをご使用になる場合は、その場所の規格に合った電源コードをお使いください。電源コードの規格についての詳細は、専門販売店、またはサービスプロバイダーにお問い合わせください。

音量に関するご注意

- **警告：イヤフォンまたはヘッドフォンを使って長時間音楽を聴くと、聴覚障害を引き起こす原因となります。**

聴覚障害を引き起こさないために、次の指示に従ってください。

- 音量を上げるときには、適度なレベルになるまで少しずつ音量を調整してください。
- 耳が音に慣れた後は、音量を上げないでください。

- 長時間高音量で音楽を聴かないでください。
- 周囲のノイズを遮断しようとして、それ以上に高音で音楽を聴かないでください。
- 近くで人が話している声が聞こえない程のレベルに音量を上げないでください。

メモリカードスロットのダミーカードについてのご注意

(該当モデルのみ)

このコンピュータにはカードスロットにプラスチック製のダミーカードが挿入されています。このダミーカードは使用されていないスロットにゴミや金属の異物、その他ホコリなどが入るのを防止するために挿入されています。ダミーカードはスロットにメモリカードを挿入していない時に使用できるよう保存しておいてください。

警告

- 本製品が水溶液に触れるおそれのある所で使用しないでください。
- 本製品は、安定したテーブルの上に置いてください。不安定な場所に設置すると製品が落下して、重大な損傷を招く恐れがありますのでご注意ください。
- スロットおよび通気孔は通気用に設けられています。これによって製品の確実な動作が保証され、過熱が防止されています。これらをふさいだり、カバーをかけたりしないでください。ベッド、ソファーなどの不安定な場所に設置して、これらがふさがることがないようにしてください。本製品は、暖房器の近くでは絶対に使用しないでください。また、適切な通風が保証されないかぎり、本製品をラックなどに組み込んで使用することは避けてください。
- 本体のスロットから物を押し込まないでください。高圧で危険な個所に触れたり部品がショートしたりして、火災や感電の危険を招く恐れがあります。
- 内部パーツが破損したり、バッテリー液が漏れたりする場合がありますので、本製品は必ず安定した場所に設置してください。
- 振動の強い環境で使用すると、予想しない電源ショートが発生したり、ルーター装置、HDD またはフラッシュメモリドライブ、光学ドライブなどが故障したり、あるいはリチウムバッテリーが爆発したりする危険性があります。
- 製品の底部、通気孔周囲、AC アダプターは高温になる場合があります。火傷を防止するために、製品が作動している間はこれらに触れないでください。

- この装置およびそのアクセサリ類には小さいパーツが含まれている場合があります。これらの部品は、お子様の手の届かない場所に保管しておいてください。

補修

お客様ご自身で修理を行わないでください。本製品のカバーを開けたりはずしたりすると、高圧で危険な個所に触れたりその他の危険にさらされるおそれがあります。本製品の修理に関しては、保証書に明示されているカスタマーサービスセンターにお問い合わせください。

次の場合、本製品の電源をオフにし、コンセントからプラグを引き抜き、保証書に明示されているカスタマーサービスセンターにご連絡ください。

- 電源コードまたはプラグが損傷したり擦り切れたりしたとき。
- 液体が本製品にこぼれたとき。
- 本製品が雨や水にさらされたとき。
- ユーザは、操作指示として述べられている個所だけを調整してください。それ以外の部分を間違って調整した場合、障害が生じ、正常動作の状態に戻すまで必要以上に時間がかかることがありますのでご注意ください。
- 本製品を落としたとき、またはケースが損傷したとき。
- 本製品に問題が生じ、サービスを必要とするとき。
- ***注意：取り扱い説明書に記載されている場合を除き、その他のパーツを無断で調整するとパーツが破損する場合があります。その場合、許可を受けた技術者が補修する必要があるため正常の状態に戻すまでに時間がかかります。***

バッテリーの安全な使用について

本製品はリチウムバッテリーを使用します。湿気の多い場所、濡れた場所、あるいは腐食性のある環境では使用しないでください。バッテリーは熱源の近く、高温になる場所、直射日光が当たる場所、オーブンレンジ内、あるいは密閉容器の中に置いたり、保管したり、放置したりしないでください。また 60°C 以上の環境に放置することもお止めください。これらの注意に従わなければ、バッテリーからバッテリー液が漏れ出し、高温になったり、爆発、発火するなどしてケガや損傷の原因となります。

バッテリーに穴を開けたり、開いたり、解体したりしないでください。漏れ出したバッテリー液に触れてしまった場合は、水で完全に液を洗い流し、直ちに医者の指示を仰いでください。

安全のため、またバッテリーを長くお使いいただくために、0°C 以下または 40°C 以上の環境では充電を行わないでください。

新しいバッテリーは 2、3 回完全な充電と放電を繰り返した後でなければ完全な性能を発揮しません。バッテリーは数百回充放電を繰り返すことができますが、最終的には消耗して使用できなくなります。動作時間が著しく短くなったときには、保証書に明示されているカスタマーサービスセンターにご連絡ください。バッテリーは専用のものをご使用になり、充電の際も本製品専用の充電器のみをご使用ください。

破損した充電器やバッテリーは絶対にご使用にならないでください。

バッテリーを高温または低温の場所(夏や冬の車内など)に放置すると、バッテリーの性能および寿命は低下します。バッテリーは常に 15°C から 25°C の環境で保管するようにしてください。熱すぎたり、冷たすぎたりするバッテリーを使用すると、たとえバッテリーが完全に充電されていても、製品が一時的に使用できなくなる場合があります。凍結するような環境では、バッテリーの性能が特に低下します。

バッテリーを火の中に投げ込むと爆発する恐れがあります。バッテリーが破損している場合も爆発する可能性があります。ご使用済みバッテリーはお住まい地域の規定にしたがって処理してください。できる限りリサイクルにご協力ください。

バッテリーは家庭用ゴミとして破棄しないでください。

- **警告!バッテリーを誤って使用されますと爆発の危険があります。分解したり、火に投げ入れたりしないでください。バッテリーはお子様の手の届かないところに保管し、使用済みバッテリーは速やかに廃棄してください。使用済みバッテリーは、お住まい地域の規定にしたがって処理してください。**

操作環境

- **警告!安全のために、次のような状況でラップトップコンピュータを使用する場合はワイヤレス装置や無線装置(無線 LAN (WLAN)、ブルートゥース、3G 等)をすべて切ってください。**

お住まい地域の規定にしたがってください。また使用が禁止されている場所または干渉や危険を引き起こす可能性がある場所では、必ず装置の電源を切ってください。装置は必ず正常な操作位置でご使用ください。この装置は正常な状態で使用するとき RF 被爆規定に準拠します。装置とアンテナは使用者から 1.5 センチ以上離れた場所に設置してください。金属に接続・接触させることなく、装置は上記に記載した条件で設置してください。データファイルやメッセージを転送するには、ネットワーク接続の状態が良くなければなりません。場合によっては、接続が使用できるようになるまでデータファイルやメッセージの転送が遅れる場合があります。転送が完了するまで、上記の距離に関する指示に従ってください。装置の一部に磁石が使用されている場合があります 。装置が金属を引き付ける場合がありますので、聴覚保護装置をお使いの方は、聴覚保護装置を使用した耳にこの装置を当てないでください。装置の近くにクレジットカードやその他の磁気記憶装置を置かないでください。それらに保管されている情報が消去される場合があります。

医療装置

携帯電話を含む無線通信装置を操作すると、保護が不十分な医療装置の機能に障害を与える恐れがあります。それらが外部からの電波から適切に保護されているかどうかについて、またその他のご質問については、医師または医療装置メーカーにお尋ねください。医療施設内で装置の電源を切ることが指示されている場合は、その指示にしたがってください。病院や医療施設では、外部からの電波の影響を受けやすい装置を使用している場合があります。

ペースメーカー：ペースメーカーの製造元は、ペースメーカーとの干渉を防止するために、ワイヤレス装置とペースメーカーの間に 15.3 センチ以上の距離を置くよう推奨しています。独立したリサーチ機関、およびワイヤレス技術リサーチ機関も同様の推奨をしています。ペースメーカーをご使用の方は、次の指示にしたがってください。

- 装置とペースメーカーの間には必ず 15.3 センチ以上の距離を保ってください。
- 装置の電源が入っているときには、ペースメーカーの近くに装置を置かないでください。干渉が生じていることが予想される場合は、装置の電源を切り、別の場所に保管してください。

聴覚補助装置：デジタル無線装置の中には、聴覚補助装置と干渉を起こすものがあります。干渉を起こす場合は、サービスプロバイダにお問い合わせください。

乗り物

無線信号は、電子燃料注入システム、電子滑り止め、ブレーキシステム、電子速度制御システム、エアバッグシステムなどの自動車に装着された電子システムに対し、それらの電磁シールドが不十分な場合に影響を与える場合があります。詳細については、自動車または追加した装置のメーカーまたはその代理店にご確認ください。装置の補修、および自動車への装置の取り付けは指定された技術者が行ってください。補修や装着は正しく行わなければ大変危険であり、装置に付帯された保証を受けることができなくなります。自動車の無線装置はすべて、正しく装着されていることと、正常に作動していることを定期的にチェックしてください。装置、そのパーツ、またはアクセサリ類と同じ場所に可燃性液体、ガス、あるいは爆発の危険性がある素材を一緒に保管したり、運送したりしないください。エアバッグが搭載された自動車は強い衝撃を受けるとエアバッグが膨らみます。エアバックの上またはエアバッグが膨らむ場所に無線装置(装着済みまたは携帯用を含む)などを設置しないでください。車内に無線装置が正しく装着されておらず、エアバッグが作動してしまった場合は、重大な傷害を引き起こす恐れがあります。飛行機内でこの装置を使用することは禁止されています。搭乗前に装置の電源を切ってください。機内で無線電話装置を使用すると、飛行機の操縦に危害を与えたり、無線電話ネットワークを中断させたりする場合があり、法律により禁止されている場合もあります。

爆発の可能性がある環境

爆発の危険性がある場所では、かならず装置の電源を切り、表示されている注意や指示にしたがってください。爆発の危険性がある場所とは、通常自動車のエンジンを切るよう指示される場所を含みます。このような場所でスパークすると爆発や火災の原因となり、身体に傷害を与えたり、死亡に至る場合もあります。ガソリンスタンドの給油場所の近くでは、ノートブックの電源は切っておいてください。燃料補給所、貯蔵所、配送エリア、化学工場、爆発性の作業が行われている場所では、無線装置の使用に関する規定にしたがってください。爆発の危険性がある場所には、通常(ただし必ずではありません)そのことが明記されています。そのような場所とは、船舶の船室、化学薬品の運送または貯蔵施設、液体石油ガス(プロパンガスまたはブタンガス)を使用する自動車、粒子、ホコリ、あるいは金属粉末などの化学物質や粒子を空中に含む場所などが含まれます。

携帯電話の使用が禁止されている場所、または干渉を生じさせたり、危険がある場所では、コンピュータの電源を入れないでください。

緊急電話

- **警告！この装置から緊急電話を掛けることはできません。緊急電話は携帯電話かその他の電話システムからお掛けください。.**

破棄について

この電子装置は家庭用ゴミとして廃棄しないでください。地球環境を保護し、公害を最低限に留めるために、リサイクルにご協力ください。**WEEE (Waste from Electrical and Electronics Equipment)** 規定についての詳細は、**www.acer-group.com/public/Sustainability/sustainability01.htm** をご参照ください。

ENERGY STAR

Acer の ENERGY STAR 準拠製品は、消費電力を抑え、機能性や性能に影響を与えることなく環境を保護します。Acer　は自信を持って、ENERGY STAR ロゴが付いた製品をお届けします。

ENERGY STARって何？

ENERGY STAR 規格に準拠した製品は、米国環境保護局が設定した厳格なエネルギー効率に関するガイドに基づき、消費電力量を抑え、温暖化ガスの発生を最低限に抑えます。Acer は製品およびサービスを国際的に提供することで、お客様が費用とエネルギーを節約しながら、地球環境を向上できるように努力します。詳しくは、**www.energystar.gov** または **www.energystar.gov/powermanagement** をご参照ください。

Acer ENERGY STAR 準拠製品の特徴 (該当モデルのみ)

- 発熱量が少なく、冷却量が少なくて済むため、地球の温暖化防止に役立ちます。
- コンピュータが無作動の状態が一定時間続くと、自動的にディスプレイが 10 分後に「スリープ」モードに、コンピュータが 30 分後に「スリープ」モードに入ります。
- キーボードのキーを押すか、マウスを動かすと、コンピュータは「スリープ」モードから復帰します。

- コンピュータは「スリープ」モードのとき、80% 以上のエネルギーを節約します。

ENERGY STAR および ENERGY STAR 記号は、米国の登録記号です。

気持ちよくお使いいただくために

長時間コンピュータを操作すると、目や頭が痛くなる場合があります。また身体的な障害を被る場合もあります。長時間に及ぶ操作、姿勢の悪さ、作業習慣の悪さ、ストレス、不適切な作業条件、個人の健康状態、あるいはその他の要素によって、身体的な障害が生じる確率は高くなります。

コンピュータは正しく使用しなければ、手根管症候群、腱炎、腱滑膜炎、その他の筋骨格関連の障害を引き起こす可能性があります。手、手首、腕、肩、首、背中に次のような症状が見られる場合があります。

- 麻痺、ヒリヒリ、チクチクするような痛み
- ズキズキする痛み、疼き、触ると痛い
- 苦痛、腫れ、脈打つような痛さ
- 凝り、緊張
- 寒気、虚弱

このような症状が見られたり、その他の症状が繰り返しまたは常にある場合、またはコンピュータを使用すると生じる痛みがある場合は、直ちに医者の指示に従ってください。

次のセクションでは、コンピュータを快適に使用するためのヒントを紹介します。

心地よい作業姿勢をとる

最も心地よく作業ができるように、モニタの表示角度を調整したり、フットレストを使用したり、椅子の高さを調整してください。次のヒントを参考にしてください。

- 長時間同じ姿勢のままでいることは避けてください。
- 前屈みになりすぎたり、後ろに反りすぎたりしないようにしてください。
- 足の疲れをほぐすために、定期的に立ち上がったり歩いたりしてください。
- 短い休憩を取り首や肩の凝りをほぐしてください。
- 筋肉の緊張をほぐしたり、肩の力を抜いたりしてください。

- 外部ディスプレイ、キーボード、マウスなどは快適に操作できるように適切に設置してください。
- 文書を見ている時間よりもモニタを見ている時間の方が長い場合は、ディスプレイを机の中央に配置することで首の凝りを最小限に留めることができます。

視覚についての注意

長時間モニタを見たり、合わない眼鏡やコンタクトレンズを使用したり、表面の反射が多い画面、高すぎる輝度設定、焦点があっていない画面、小さい文字、低コントラストのディスプレイなどは目にストレスを与える原因となります。次のセクションでは、目の疲れをほぐすためのヒントを紹介します。

目

- 頻繁に目を休ませてください。
- モニタから目を離して遠くを見ることによって目を休ませてください。
- 頻繁に瞬きをするとドライアイから目を保護することができます。

ディスプレイ

- ディスプレイは清潔に保ってください。
- ディスプレイの中央を見たときに若干見下ろす形になるように、ディスプレイの上端よりも頭の位置が高くなるようにしてください。
- ディスプレイの輝度やコントラストを適切に調整することにより、テキストの読みやすさやグラフィックの見易さが向上します。
- 次のような方法によって画面からの反射や映り込みを防止してください。
- 窓や光源に対して横向きになるようにディスプレイを設置してください。
- カーテン、シェード、ブラインドなどを使って室内の照明を最小化してください。
- デスクライトを使用してください。
- ディスプレイの表示角度を調整してください。
- 反射防止フィルタを使用してください。
- ディスプレイの上部に厚紙を置くなどしてサンバイザーの代わりにしてください。
- ディスプレイを極端な表示角度で使用することは避けてください。

- 長時間明るい光源を見つめないでください。

正しい作業習慣を身に付ける

次のような習慣でコンピュータを使用すると、よりリラックスした状態で作業を行うことが可能になり、生産性も向上します。

- 定期的かつ頻繁に短い休憩を取ってください。
- ストレッチ運動をしてください。
- できるだけ頻繁に新鮮な空気を吸ってください。
- 定期的に運動をして身体の健康を維持してください。
- **警告！ソファーやベッドの上でコンピュータを操作することはお薦めしません。どうしてもその必要がある場合は、できるだけ短時間で作業を終了し、定期的に休憩を取ったりストレッチ運動をしたりしてください。**
- **注意：詳しくは、*84 ページの「規制と安全通知」*を参照してください。**

はじめに

この度は、Acer 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ガイド

本製品を快適にご使用いただくために、次のガイドが提供されています。

初めての方は、**セットアップポスター**の解説に従ってコンピュータを設定してください。

クイックガイドは、本製品についてわかりやすく解説してありますので、必ずお読みいただき、正しくお使い下さい。**ユーザーガイド**には、システムユーティリティ、データ復元、拡張オプション、トラブルシューティングなどの詳細情報を記載しております。その他、保証情報および一般的な規制、安全のためのご注意なども記載されています。このガイドは、デスクトップで [ヘルプ] アイコンをクリックし､表示されるメニューで **[ユーザーガイド]** をクリックすることによりご覧いただけます。

コンピュータの取り扱いと使用に関するヒント

コンピュータをオン / オフにします

コンピュータの電源を切るには、以下を行います。

- Windows のシャットダウン機能：*Windows キー* + **<C>** を押し､**[設定]** > **[電源]** > **[シャットダウン]** を選択します。

しばらくの間コンピュータを完全にシャットダウンせずに、電源を落としておきたい場合は、電源ボタンを押してハイバネーションモードにすることができます。

> ***注意***：*通常の方法でコンピュータの電源をオフ　にできない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押してください。コンピュータの電源を入れ直す場合は、最低 2 秒間待ってください。*

コンピュータの取り扱い

コンピュータは、次の点に注意して取り扱ってください。

- 直射日光に当てないでください。また、暖房機などの熱を発する機器から放してお使いください。
- 0 ℃ 以下または 50 ℃ 以上の極端な温度は避けてください。
- 磁気に近づけないでください。
- 雨や湿気にさらさないでください。
- 液体をかけないでください。
- 強いショックを与えたり、激しく揺らしたりしないでください。
- ほこりや塵を避けてください。
- コンピュータの上には、絶対にものを置かないでください。
- ディスプレイを乱暴に閉めないでください。
- コンピュータは、安定した場所に設置してください。

AC アダプターの取り扱い

AC アダプターは、次のように取り扱ってください。

- 指定以外のデバイスに接続しないでください。
- 電源コードの上に乗ったり、ものを置いたりしないでください。人の往来が多いところには、電源コードおよびケーブルを配置しないでください。
- 電源コードを抜くときは、コードではなくプラグを持って抜いてください。
- 延長コードを使うときは、延長コードに接続された電気製品の定格電流の合計が延長コードに表示された許容の定格電流以下になるように注意してください。また、コンセントに差し込んだすべての製品の定格電流の合計が超えないように注意してください。

清掃と修理

コンピュータの清掃は、以下の手順に従ってください。

1. コンピュータの電源をオフにしてください。
2. AC アダプターを外します。
3. 柔らかい布で本体を拭いてください。液体またはエアゾールクリーナは、使用しないでください

次の状況が発生した場合：

- コンピュータを落としたとき、またはケースが損傷したとき。
- コンピュータが正常に動かないとき。

45 ページの "FAQ" を参照してください。

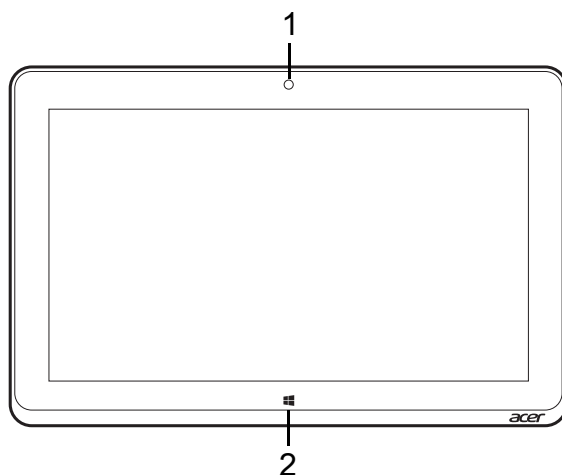
タブレットの概要

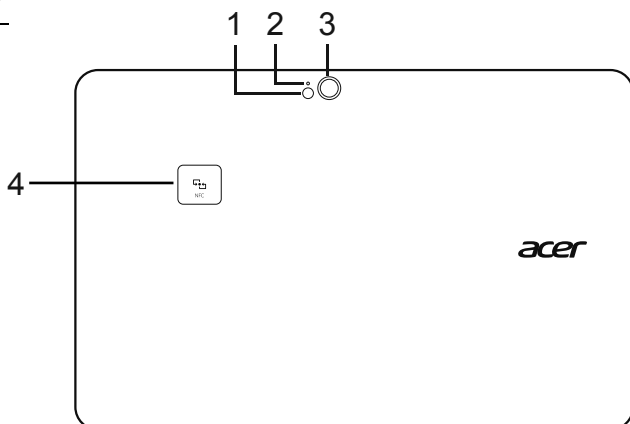
ここでは、本製品の機能について紹介します。セットアップポスターの解説に従ってコンピュータを設定した後にお読みください。

本製品への情報の入力は、タッチスクリーンから行えます。

タブレット

本製品は、タブレットとオプションのキーボードドックの 2 つのパーツで構成されています。以降に示す画像は、これらのパーツを示しています。画像は、画面を手前に向け、カメラが上にくるようタブレットを持った状態を基準にしています。

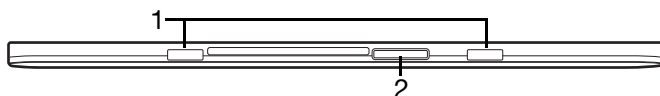
正面

No.	アイテム	説明
1	Acer Crystal Eye WEB カメラ	ビデオ通信用の WEB カメラです。
2	Windows キー	1 度押すと、[スタート] メニューが表示されます。

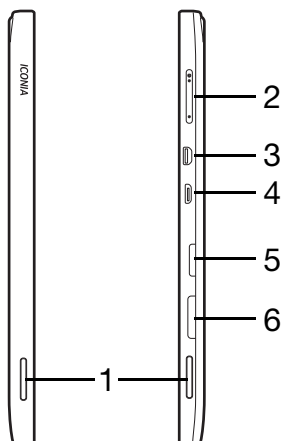
背面

No.	アイテム	説明
1	フラッシュ	カメラ用の LED フラッシュです。
2	カメラ LED	カメラの使用中に点灯します。
3	カメラ	高解像度画像を撮影するための 8 メガピクセルカメラです。
4	NFC マーク（オプション）	NFCご利用時に使用します。本機能はすべてのモデルに搭載しておりません。

上面

No.	アイテム	説明
1	ヘッドセット / スピーカージャック	オーディオ出力デバイス (スピーカー、ヘッドフォンなど) またはマイクロフォン付きのヘッドセットに接続します。
2	スクリーンロックスイッチ	画面の回転をロックします。
3	電源ボタン	このボタンを押すと、タブレットの電源がオンになります。もう 1 度押すと、タブレットがスリープモードになります。押し続けると、タブレットの電源がオフになります。
	バッテリーランプ	コンピュータのバッテリーの状態を示します。22 ページの「LED インジケータ」を参照してください。

注意：*特定の方向で動作するアプリケーションの実行中は、ディスプレイの回転が固定されることがあります。このようなアプリケーションには、ゲームやその他のフルスクリーンアプリケーションなどがあります。ビデオ通話を行うときは、必ずタブレットを横方向にしてください。*

下部

No.	アイテム	説明
1	キーボードドック用スロット	キーボードドックに固定します。
2	ドックコネクタ / DC 入力ジャック	AC アダプターまたはキーボードドックに接続します。

左面 / 右面

No.	アイテム	説明
1	スピーカー	オーディオを出力します。
2	音量調整スイッチ	このスイッチを押して音量を調整します。
3	micro HDMI ポート	高性能デジタル映像出力機器の接続に対応します。

No.	アイテム	説明
4	**Micro USB**コネクタ	**USB** デバイスに接続します。 **USB** デバイスに接続するためには、Micro USB からUSB への変換アダプターが必要です。 *USB ポートを使用するときは、電源アダプターを接続することをお薦めします。*
5	**microSD**カード スロット	このスロットに **microSD**カードを挿入します。
6	**SIM** カードスロット*	このスロットに **SIM** カードを挿入します。 * 特定のモデルのみ。

LED インジケータ

LED の色	状態	説明
青	点灯	コンピュータが完全に充電され、電源に接続されています。
琥珀色	点灯	コンピュータが充電中で、電源に接続されています。

SIM カードの挿入 (特定のモデルのみ)

一部のコンピュータにはインターネットアクセス用の SIM スロットがあります。ご使用のコンピュータのインターネット能力を十分に利用するため、コンピュータをオンにする*前に*データサブスクリプションを持つ SIM カードを挿入する必要があります。

1. コンピュータがオフになっていることを確認します。
2. SIM カードを挿入します。完全に挿入されると、カチッと音がしてはまります。
3. コンピュータをオンにします。

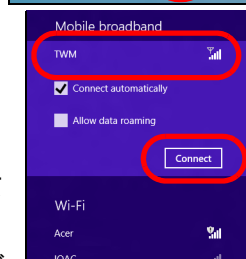
注意 : SIM カードはカードスロットの奥まで挿入するようにしてください。

警告 : SIM カードを挿入する前、または取り出す前にコンピュータをオフにしてください。電源が入った状態では、カードまたはコンピュータを損傷する恐れがあります。

ネットワーク接続の利用

デスクトップを開いてタスクバーのネットワークアイコンをタップします。

ネットワークのリストからデータ接続を選択します。

[接続]、**[次へ]** の順に選択します。

SIM カードロック

コンピュータに SIM カードロックが設定されていることがありますが、その場合、ネットワークオペレータによって提供された SIM カードのみを使用できます。SIM ロックを解除するには、ネットワークプロバイダにお問い合わせください。

SIM カードの取り出し

1. コンピュータがオフになっていることを確認します。
2. SIM カードをスロットに押し込み、ゆっくりと放します。SIM カードはスロットから押し出されます。

日本語

タブレットをキーボードドックに接続

キーボードドックはオプションです。

タブレットをドックコネクタおよびキーボードドックの2つのピンの位置に合わせます。カチッと音がしてリリースラッチがはまるまでタブレットを押し下げます。

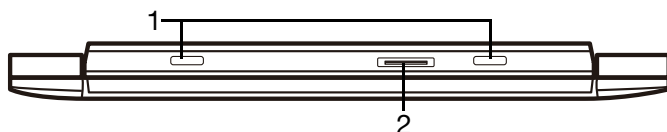
タブレットをキーボードドックに固定

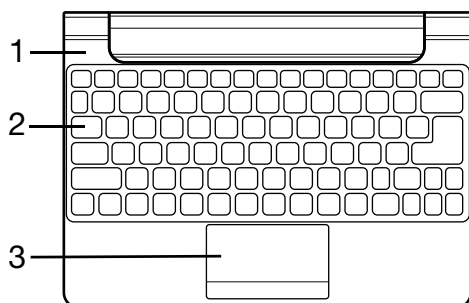
タブレットをドックに置き、カチッと音がしてはまるのを確認します。

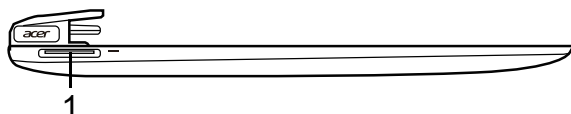
__注意__：取り外すときは、リリースラッチを左に押し、タブレットを持ち上げてキーボードドックから取り外します。

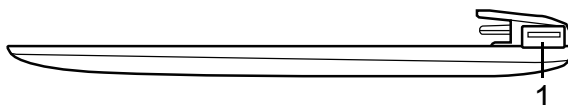
キーボードドック

以下の画像はオプションのキーボードドックを示しています。

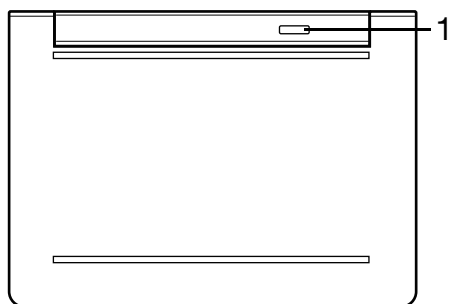
正面

No.	アイテム	説明
1	キーボードドック用ピン	タブレットをドックに固定します。
2	ドックコネクタ	タブレットのドックコネクタに接続します。

上面

No.	アイテム	説明
1	バッテリーおよび電源ランプ	タブレットのバッテリーおよび電源の状態を示します。22 ページの「LED インジケータ」を参照してください。
2	キーボード	タブレットにデータを入力するために使用します。
3	タッチパッド	コンピュータのマウスと同じように機能し、指を触れることで反応するポインティングデバイスです。

左面

No.	アイテム	説明
1	DC 入力ジャック	AC アダプターに接続します。

右面

No.	アイテム	説明
1	USB 2.0 ポート	USB デバイスに接続します。

日本語

下部

No.	アイテム	説明
1	リリースラッチ	タブレットを閉じている間、キーボードドックに固定します。

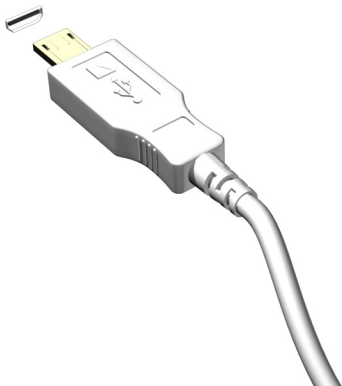
環境

- 温度：
  - 操作時：5 ～ 35 °C
  - 非操作時：-20 ～ 65 °C
- 湿度 (結露しないこと) :
  - 操作時：20 ～ 80%
  - 非操作時：20 ～ 80%

micro USB

USB (Universal Serial Bus) ポートは、システムリソースを使わずに USB デバイスをつないで使用することを可能にする高速シリアルバスです。

Micro USBポートは2.0 USB デバイスに完全に適合するコンパクトなポートを提供しています。

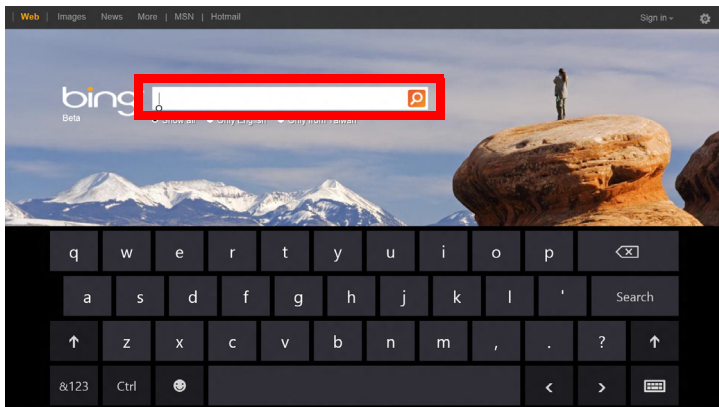
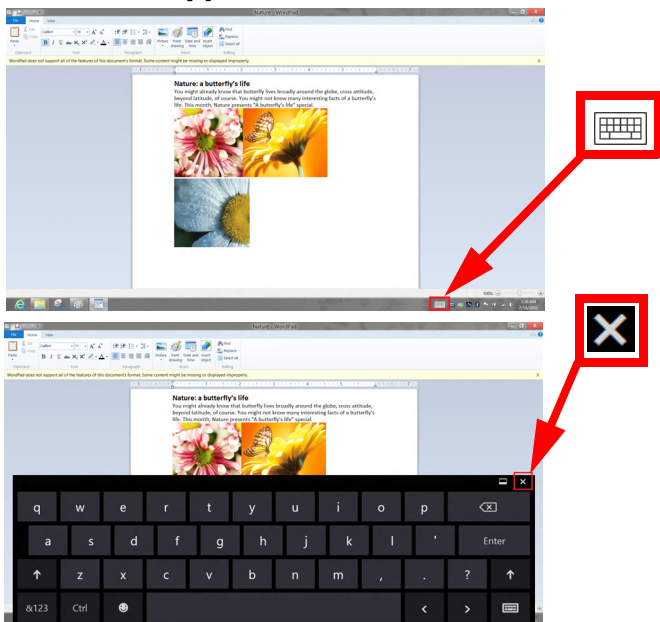
> ***注意***：*フルサイズのコネクタを使用しているUSB デバイスに接続するには、 micro USB からUSBへの変換アダプタが必要です。*

micro HDMI

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) は業界がサポートする未圧縮のオールデジタルオーディオ / ビデオインターフェイスです。HDMI はセットトップボックス、DVD プレーヤー、A/V 受信装置などの対応するデジタルオーディオ / ビデオソースと、デジタル TV (DTV) などの対応するデジタルオーディオ / ビデオモニタを 1 本のケーブルで繋ぐインターフェイスです。

コンピュータの HDMI マイクロポートを使ってハイエンドオーディオ / ビデオ装置に接続してください。1 本のケーブルで接続できますのでコンピュータ周りをすっきりと維持し、すばやく接続することができます。

ソフトウェアキーボードの使い方

Microsoft Windows には、データを入力するためのソフトウェアキーボードが付いています。このキーボードは、いくつかの方法で表示できます。

任意のテキストフィールド内をタップすると、Windows ソフトウェアキーボードが表示されます。

また､デスクトップのシステムトレイにある [キーボード] アイコンをタップしても、キーボードを表示できます。キーボードを閉じるには、キーボードの右上隅にある [x] をタップします。

ワイヤレスネットワーク

インターネットへの接続

コンピュータのワイヤレス接続は、デフォルトでオンになっています。

Windows は、セットアップ中に利用可能なネットワークを検出し、そのリストを表示します。使用するネットワークを選択し、必要に応じてパスワードを入力します。

ネットワークが検出されない場合は、Internet Explorer を起動して指示に従ってください。

インターネットサービスプロバイダに問い合わせるか、ルーターの説明書を参照してください。

ワイヤレスネットワーク

ワイヤレス LAN または WLAN は、ケーブルを使用しなくても複数のコンピュータを接続することのできるワイヤレスローカルエリアネットワークです。ワイヤレスネットワークは簡単にセットアップでき、セットアップ後はファイル、周辺機器、およびインターネット接続を共有できます。

ワイヤレスネットワークを利用する利点は何ですか?

利便性

ワイヤレス LAN システムでは、ホームネットワークのユーザーが、ファイルや、ネットワークに接続されたプリンターおよびスキャナーなどのデバイスへのアクセスを共有できます。

また、インターネット接続を自宅の他のコンピュータと共有することもできます。

インストールが簡単

ワイヤレス LAN システムは短時間で簡単にインストールでき、ケーブルを壁や天井に配線する必要がありません。

ワイヤレス LAN に必要なもの

自宅にワイヤレスネットワークをセットアップするには、次のものが必要です。

アクセスポイント (ルーター)

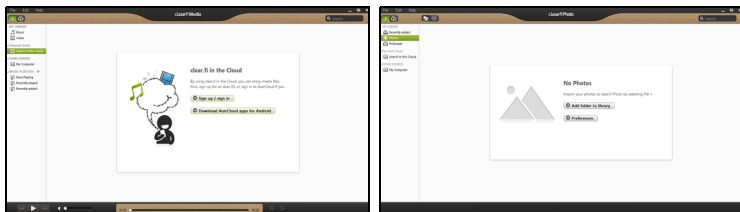
アクセスポイント (ルーター) は、周囲にデータを送信する双方向トランシーバです。有線ネットワークとワイヤレスネットワークとの間の仲介役として機能します。多くのルーターには、高速 DSL インターネット接続へのアクセスを可能にする DSL モデムが内蔵されています。通常、契約した ISP (インターネットサービスプロバイダ) は、サービスへの申し込み者にモデム / ルーターを提供しています。セットアップ手順の詳細については、アクセスポイント / ルーターに付属の説明書をよくお読みください。

Acer clear.fi

注意：この機能は一部のモデルでしかご使用いただけません。

Acer clear.fi を使用して、ビデオ、フォト、ミュージックを楽しむことができます。Acer clear.fi がインストールされている他のデバイスとの間で、互いにメディアをストリーミングできます。

注意：すべてのデバイスがホームネットワーク上に接続されている必要があります。

ビデオを見たり、ミュージックを聴いたりするには、**[clear.fi Media]** を開きます。フォトを閲覧するには、**[clear.fi Photo]** を開きます。

*重要：*clear.fi アプリケーションを初めて開くときに、Windows ファイアウォールで clear.fi によるネットワークへのアクセスを許可するかどうかのメッセージが表示されます。各ウィンドウで、**[アクセスを許可する]** を選択します。

メディアおよびフォトの参照

左パネルのリストには、このコンピュータ ([マイライブラリ]) と、ネットワークに接続されている他のデバイスがある場合にはそれらのデバイス ([共有ホーム]) が表示されます。

このコンピュータ内のファイルを参照するには、[マイライブラリ] のいずれかのカテゴリーを選択して、右側のファイルやフォルダを参照します。

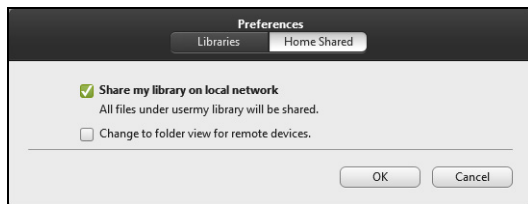
共有ファイル

ネットワークに接続されているデバイスは、**[共有ホーム]** セクションに表示されます。デバイスを選択してから、参照するカテゴリーを選択します。

しばらくすると、右側に共有ファイルおよびフォルダが表示されます。再生するファイルを探し、それをダブルクリックして再生を開始します。

画面の下部にあるメディアコントロールバーを使用して、再生を制御します。例えば、ミュージックを選択した場合は、再生、一時停止、中止したり、音量を調整したりできます。

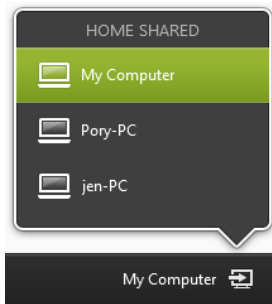
__注意__：ファイルが保存されているデバイスで、共有を有効にする必要があります。ファイルが保存されているデバイスで clear.fi を開き、

[編集] を選択して、[マイライブラリをローカルネットワークで共有] が有効になっていることを確認します。

対応するデバイス

clear.fi または DLNA ソフトウェアとの対応が認定された Acer デバイスでのみ、clear.fi ソフトウェアを使用できます。これらには、DLNA 対応パソコン、スマートフォン、および NAS　(Network Attached Storage) 機器が含まれます

別のデバイスでの再生

メディアを別のデバイスで再生するには、次の手順に従ってください。

1. 右下隅に表示される を選択します。
2. ファイルを再生するリモートデバイスを選択します。

3. メインウィンドウでファイルを選択し、画面の下部にあるメディアコントロールバーを使用して、リモートデバイスを制御します。
   注意：本リストに表示されているデバイスのみ再生することが可能です。ストレージデバイスや設定されていないPCは表示されれません。
   Windows PC を設定するにはWindows Media Player を開き「ストリーム」を選択し、「プレーヤーのリモート制御を許可」を選択し「制御を許可する」を選択してください。

画面の回転と G-SENSOR

コンピュータには、タブレットの方向を検出し、それに合わせて画面を自動的に回転する加速度センサーが内蔵されています。

画面の回転は、スクリーンロックスイッチを使用してロックできます。回転は、次のような場合にもロックされることがあります。

- タブレットがスタンドに取り付けられているとき
- HDMI ケーブルが差し込まれているとき
- 特定の方向で動作するプログラムが実行されているとき

> ***注意***：*ビデオ通話を行うときは、WEB　カメラが上にくるようタブレットを横方向にすることをお薦めします。ビデオ通話を開始する前に、ディスプレイを横方向に回転させ、スクリーンロックスイッチを使用してその方向に固定してください。*

画面の回転のロック状態が変化すると、そのことを示すアイコンが画面にしばらく表示されます。

省電力機能

このコンピュータにはシステムの動作状況を監視する、電源管理ユニットが内蔵されています。電源管理ユニットは、コンピュータのキーボード、マウス、ハードディスク、コンピュータに接続されている周辺機器等の動作状況を監視します。

一定時間、操作していない時間が続くとき、消費電力を節約するために自動的にデバイスを停止する省電力機能が設定されています。

バッテリー

このコンピュータは長時間利用できる埋め込みのバッテリーを使用しています。

バッテリーの特徴

バッテリーには次のような特徴があります。

- 最新のバッテリー技術規格を採用
- 低残量を警告

バッテリーはコンピュータに AC アダプターを接続すると充電されます。このコンピュータは、使用中でも充電することができます。ただしコンピュータの電源を切った状態で充電した方が、はるかに早く充電できます。

バッテリーの充電

バッテリーを充電するには、まずバッテリーが正しくコンピュータ本体に装着されていることを確認してください。AC アダプターをコンピュータに接続し、コンセントに繋ぎます。バッテリーを充電している間も AC 電源を使ってコンピュータ操作を継続することができます。ただしコンピュータの電源を切った状態で充電した方が、はるかに早く完了することができます。

> ***注意 :*** *1 日の終わりにバッテリーを充電されるようお薦めします。ご使用後に一晩中バッテリーを充電しておくと、翌日バッテリーが完全に充電された状態で作業を開始することができます。*

新しいバッテリーのコンディション調整

最初にバッテリーをお使いになる前に、バッテリーのコンディション調整を行う必要があります。

1. AC アダプターを接続し、バッテリーを完全に充電します。
2. AC アダプターを外します。
3. コンピュータの電源を入れて、バッテリー電源でコンピュータ操作を行います。
4. 低残量警告が表示されるまで、バッテリーを消耗させます。
5. AC アダプターを接続し、再びバッテリーを完全に充電します。

この手順にしたがって、バッテリーの充電と放電を 3 回繰り返します。

新しいバッテリーを購入された場合、あるいは長時間バッテリーを使用していない場合は、このコンディション調整を行ってください。

警告！バッテリーを長時間 0°C 以下、または 45°C 以上の環境に放置しないでください。極度な環境では、バッテリーに著しい影響を与える恐れがあります。

バッテリーのコンディション調整を行い、バッテリーをできるだけ長期間使用できるように整えてください。この調整を行わなければ、バッテリーの充電可能回数が少なくなり、寿命も短くなります。

また次のような使用パターンは、バッテリーの寿命に影響します：

- 常に AC 電源を使用する。
- 上記で説明した方法で完全に充電と放電を行わない。

- 頻繁に使用する。バッテリーは使えば使うほど、寿命が短くなります。標準のコンピュータバッテリーは、約 300 回充電することができます。

バッテリーの寿命を最適化する

バッテリーの寿命を最適化すると、充電 / 放電サイクルを延長させ、効率良く充電

することができるようになります。次のアドバイスにしたがってください。

- できるだけ AC 電源を使用し、バッテリーは外出用に保存しておく。
- PC カードは電力を消費するため、これを使用しないときには外しておく（該当モデルのみ）。
- バッテリーは涼しい、乾燥した場所に保管する。推奨する温度は 10°C から 30°C です。気温が高くなると、バッテリーはより早く自己放電します。
- 何度も充電を繰り返すとバッテリーの寿命は短くなります。
- AC アダプターとバッテリーは消耗品です。

バッテリー残量の確認

Windows の電源メーターに現在のバッテリー残量が表示されます。タスクバー上のバッテリー / 電源アイコンにマウスカーソルを合わせると、バッテリーの残量が表示されます。

低残量警告

バッテリーを使用するときには、Windows の電源メーターに注意してください。

警告！バッテリーの低残量警告が表示されたら、速やかに AC アダプターを接続してください。バッテリーが完全に消耗すると、コンピュータがシャットダウンしますのでデータが失われてしまいます。

バッテリーの低残量警告が表示された場合の対処法は、作業状況によって異なります。

状況	対処法
AC アダプターとコンセントが近くにある場合。	1. AC アダプターをコンピュータに接続し、コンセントに繋ぎます。 2. 必要なファイルすべてを保存します。 3. 作業を再開します。 **バッテリーをできるだけ速く充電したい場合は、コンピュータの電源を切ってください。**
AC アダプターとコンセントが近くにない場合。	1. 必要なファイルすべてを保存します。 2. すべてのアプリケーションを閉じます。 3. コンピュータの電源を切ります。

セキュリティ機能

コンピュータには厳重な管理を必要とする貴重な情報が保管されています。コンピュータを保護し、管理するための方法について説明します。

パスワード

パスワードはコンピュータを不正なアクセスから保護します。これらのパスワードを設定しておくと、コンピュータやデータを異なるレベルで保護することができます。

- スーパバイザパスワードを使って、BIOS ユーティリティへの不正アクセスを防ぐことができます。このパスワードを設定すると、BIOS ユーティリティにアクセスするためには同じパスワードを入力しなければなりません。**84 ページの「BIOS ユーティリティ」**を参照してください。
- ユーザパスワードを使って、コンピュータが不正に使用されることを防ぐことができます。(可能であれば)起動時およびハイバネーションモードから標準モードに戻る際のパスワード入力により、最大のセキュリティを提供します。
- ブート時にパスワードを使って、コンピュータが不正に使用されることを防ぐことができます。(可能であれば)起動時およびハイバネーションモードから標準モードに戻る際のパスワード入力により、最大のセキュリティを提供します。

重要 : スーパバイザパスワードを忘れないようにしてください。パスワードを忘れてしまった場合は、弊社のカスタマーサポートセンターへご連絡ください。

パスワードの入力

パスワードが設定されると、パスワードプロンプトが画面の中央に表示されます。

- スーパバイザパスワードがセットされると、BIOSユーティリティにアクセスする際にプロンプトが表示されます。
- スーパバイザパスワードを入力して <**Enter**> キーを押し、BIOS ユーティリティにアクセスしてください。間違ったパスワードを入力すると、警告メッセージが表示されます。もう 1 度入力し、<**Enter**> キーを押してください。
- ユーザパスワードがセットされて **Password** on boot パラメータが Enabled にセットされると、起動時にプロンプトが表示されます。
- ユーザパスワードを入力して <**Enter**> キーを押し、コンピュータを使用してください。間違ったパスワードを入力すると、警告メッセージが表示されます。もう 1 度入力し、<**Enter**> キーを押してください。

重要：パスワードは 3 回まで入力できます。3 回間違って入力すると、コンピュータは動作を停止します。電源ボタンを 4 秒間ほど押し続け、コンピュータをシャットダウンしてください。もう 1 度電源をオンにし、パスワードを入力してください。

FAQ

コンピュータを使用しているときに発生する可能性のあるトラブルとその対処方法をご説明いたします。

電源は入りますが、コンピュータが起動またはブートしません。

電源 LED をチェックしてください。

- 点灯していない場合は、電源が供給されていません。以下についてチェックしてください。
  - バッテリー電源でコンピュータを動作している場合は、バッテリー充電レベルが低くなっている可能性があります。AC アダプターを接続してバッテリーパックを再充電してください。
  - AC アダプターがコンピュータとコンセントにしっかりと接続されていることを確認してください。
- 点灯している場合は、以下についてチェックしてください。
  - 光学ドライブにディスクが挿入されていませんか ? ディスクを取り出し、<**Ctrl**> + <**Alt**> + <**Del**> キーを同時に押してシステムを再起動してください。
  - USB メモリデバイス (USB フラッシュドライブやスマートフォン) がコンピュータに接続されていませんか ? このようなデバイスを外し、<**Ctrl**> + <**Alt**> + <**Del**> キーを同時に押してシステムを再起動してください。

画面に何も表示されません。

コンピュータのパワーマネージメントシステムは、電源を節約するために自動的に画面をオフにします。任意のキーを押してください。

キーを押しても正常な状態にもどらない場合は、次の 3 つの原因が考えられます。

- 輝度レベルが低すぎる可能性があります。<Fn> + < ▹ > (増加) キーを押して、輝度を調節してください。
- ディスプレイデバイスが外付けモニターにセットされている可能性があります。ディスプレイ切り替えホットキー<Fn> + <F5> を押し、ディスプレイを切り替えてください。
- スリープ LED が点灯している場合、コンピュータはスリープモードに切り替わっています。電源ボタンを押し、標準モードに戻ってください。

音声が出力されません。

以下について確認してください。

- ボリュームが上がっていない可能性があります。Windows 環境では、タスクバーのボリューム制御 (スピーカー) アイコンをチェックしてください。アイコンをクリックして、全ミュート機能を取り消してください。
- ボリュームレベルが低すぎる可能性があります。 Windows でタスクバーのボリューム制御アイコンをチェックしてください。ボリューム制御ボタンを使って調節することもできます。
- ヘッドホン、イヤホンまたは外付けスピーカーがコンピュータの右側のヘッドフォンジャックに接続されている場合、内蔵スピーカーは自動的にオフになります。

コンピュータの電源がオフの状態で光学ドライブトレイを取り出したい。

光学ドライブには、強制イジェント用の小さな孔があります。ペンの先やクリップを挿入し、トレイを取り出してください。（スロット式の光学ドライブが搭載されたコンピュータにはイジェクト用の小さな孔はありません。）

キーボードが動作しません。

外付けキーボードをコンピュータにある USB コネクタに接続してください。これが動作する場合は、内部キーボードケーブルが損傷している可能性があります。弊社のカスタマーサービスセンターにご連絡ください。

プリンターが動作しません。

以下について確認してください。

- プリンターをコンセントにしっかりと接続し、電源をオンにしてください。
- プリンタケーブルがしっかりと USB ポートとプリンタ側の USB ポートに接続されていることを確認してください。

アフターサービスについて

日本エイサーでは安心につながる 3 つのサポートをご用意しております。

国際旅行者保証 (International Travelers Warranty; ITW)

コンピュータは、旅行の際の安全と安心を提供する国際旅行者保証 (ITW) が含まれています。世界各地にある弊社のサービスセンターでサービスを受けることができます。

コンピュータには、ITW パスポートが付属しています。このパスポートには、サービスセンターのリストを含む ITW プログラムについてのご案内が記載されています。

サービスセンターでサービスを受ける場合は、このパスポートをお持ちください。

パスポート内にレシートを保管するポケットがあります。

旅行先の国に弊社のサービスセンターがない場合でも、弊社の世界各地のオフィスに連絡することができます。**www.acer.com** にアクセスしてください。

インターネットサポート

下記の日本エイサーホームページよりサポートのページに行くことができます。

「Q&A」や「よるある質問」など役に立つサポート情報を掲載しております。

日本エイサーホームページ：

http://www.acer.co.jp/

カスタマーサービスセンター

電話サポート：0570-016868

メールサポート：jcsd@acer.co.jp

※E メールサポートにてお問い合わせ頂く際は、下記項目をご連絡ください。

- お名前
- メールアドレス
- お電話番号

- ご住所 :（郵便番号）
- 製品名 :（例 : AS3103WLCiB80）
- 購入日 :（年月日）
- 製造番号 (S/N)
- ノートパソコン :「L」で始まる 22 桁の英数字
- ディスクトップ :「P」で始まる 22 桁の英数字
- モニター :「E」で始まる 22 桁の英数字
- 症状 :（できるだけ詳しく）

Windows 8 を使うための方法やヒント

新しいオペレーティングシステムである Windows 8 は、使い慣れるまでに少し時間がかかることが予想されます。そこで、当社では、Windows 8 を簡単に始めることができるように、指針をいくつか作成しました。

留意すべき 3 つの概念

1. スタート

[スタート]ボタンはありません。アプリは[スタート]画面から起動します。

2. タイル

ライブタイルは、アプリケーションのサムネイルに類似しています。

3. チャーム

チャームでは、コンテンツを共有する、コンピュータの電源を切る、設定を変更するなどの便利な機能を使用できます。

チャームにアクセスするには

チャームにアクセスするには、カーソルを画面の右上隅または右下隅に移動するか、*Windows* キー + <**C**> キーを押します。

[スタート] を表示する

キーボードの Windows キーを押す、*Windows* キー+<**C**> を押して **[スタート]** をクリックする、またはカーソルを画面の左下隅に移動して **[スタート]** をクリックします。

アプリの切り替えを行う

画面の左端にカーソルを移動し、現在動作中のアプリケーションのサムネイルを表示します。

また、*Windows* キー + **Tab** キーを押して、現在のアプリケーションのリストを開き、スクロールすることもできます。

コンピュータの電源を切る

チャームを開き、**[設定] > [電源]** をクリックした後、スリープ、シャットダウンなど行いたい動作を選択します。または、デスクトップから **[Acer Power Button]**をクリックし、実行したい操作を選択することもできます。

新しいスタートスクリーン

新しいスタートスクリーンは、タッチ入力をより正確に作動させるために設計された、Windows 8 用インターフェイスです。新しいスタートスクリーン用プログラムは自動的に全スクリーンを使用し、従来とは異なる方法で閉じられます。Windows アプリはライブタイルを伴って、[スタート] に表示されます。

「ライブタイル」とは

ライブタイルとはプログラムのサムネイルのようなものです。インターネットに接続すると新しいコンテンツに更新されます。例えば、アプリを開かなくても天気や株式情報を見ることができます。

コンピュータのロックを解除するには

任意のキーを押してユーザーアカウントアイコンをクリックすると、コンピュータのロックが解除されます。アカウントにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力しないと、操作を続行することができません。

コンピュータをパーソナライズする

ロック画面の背景画像、スタート画面のデザインを変更したり、タイルを並べ替えたりして *[スタート]* 画面をパーソライズすることができます。

背景を変更するには、チャームを開き、**[設定] > [PC 設定の変更] > [パーソナル設定]** をクリックします。ページの一番上からスタート画面をクリックし、デザインと画像を選択します。

タイルを移動する

タイルをクリックして選択し、*[スタート]* 上の表示する位置までドラッグします。そのタイルが新しい位置に収まるように、その他のタイルは移動します。

タイルのサイズを変更

タイルを右クリックした後、画面の下部に表示されるメニューから **[小さく]** または **[大きく]** を選択します。

ロック画面のパーソナライズ

ロック画面は画像を変更したり、クイックステータスや通知を表示するなどして、自由にパーソナライズすることができます。

背景を変更するには、チャームを開き、**[設定] > [PC 設定の変更] > [パーソナル設定]** をクリックします。ページの一番上でロック画面をクリックし、ロック画面上に表示したい画像とアプリを選択します。

スタートスクリーンでアプリを閉じる

カーソルをスクリーンの一番上に動かし、ウィンドウを下へドラッグするとアプリが閉じられます。

サムネイルを右クリックして **[閉じる]** を選択すると、スクリーンの左側にあるサムネイルからアプリを閉じることができます。

スクリーンの解像度を変更

[スタート] から [コントロールパネル] と入力すると *[検索]* が開き、検索結果が表示されます。**[コントロールパネル] > [ディスプレイ] > [ディスプレイの設定]** の変更をクリックします。

従来のデスクトップを表示する

[スタート] から **[デスクトップ]** タイルをクリックすると、従来のデスクトップに戻ります。頻繁に使用するプログラムはタスクバーに留めておくと、簡単に起動できます。

Windows ストアアプリ以外のプログラムをクリックすると、Windows はそれを *デスクトップ* 上に開きます。

プログラムを探す

[スタート] から開きたいプログラム / アプリの名前を入力し、*[検索]* を選択すると、検索結果が表示されます。

プログラム / アプリのリストを表示するには、スペースバーを押します。または、メニューキーを押して **[すべてのアプリ]** をクリックします。

プログラム / アプリを [スタート] に表示する

[すべてのアプリ] が表示されているときに、プログラムをスタートに表示したい場合は、該当するプログラム / アプリを選択して右クリックします。画面の下に表示されるメニューから **[スタート画面にピン留めする]** を選択します。

[スタート] からタイルを外す

タイルを右クリックして、画面の一番下に表示されるメニューから **[スタート画面からピン留めを外す]** を選択します。

プログラムをデスクトップのタスクバーに表示する

[すべてのアプリ] メニューからタスクバーに表示したいプログラムを選択して右クリックします。画面の下に表示されるメニューから **[タスクバーにピン留めする]** を選択します。

Windows ストアアプリをインストールする

Windows ストアアプリは Windows ストアからダウンロードできます。*ストア*からアプリを購入したり、ダウンロードしたりするには、Microsoft アカウントが必要です。

メモ帳やペイントなどのプログラムが見当たりません。どこにありますか

[スタート] から探したいプログラムの名前を入力して *[検索]* を開き、検索結果を待ちます。または *[すべてのアプリ]* を開き、[Windows アクセサリ] にスクロールすると、従来のプログラムがリストされます。

Microsoft アカウントとは

Microsoft アカウントは、Windows にサインインするときに必要な電子メールアドレスとパスワードです。どのような電子メールアドレスでも構いませんが、友達と連絡したり、好きなウェブサイトにサインインするときに使用しているものを使用すると良いでしょう。Microsoft アカウントでコンピュータにサインインすると、ファイルや写真にどこからでもアクセスでき、設定の同期なども行うことができます。

Microsoft アカウントは必要ですか

Microsoft ID がなくても、Windows 8 は使用できます。ただし、Microsoft ID を使用すると、サインイン先のさまざまなマシンでデータを同期することができるので、処理が簡単に行えます。

Microsoft アカウントを取得するには

Windows 8 が既にインストールされていて、Microsoft アカウントでサインインしていない場合、または Microsoft アカウントを取得したい場合は、チャームを開き、**[設定] > [PC 設定の変更] > [ユーザー] > [Microsoft アカウントへの切り替え]** をクリックします。その後は、画面の指示に従ってください。

スタートスクリーンの Internet Explorer にお気に入りを追加

スタートスクリーンの Internet Explorer には従来のお気に入りがありません。代わりに *[スタート]* へのショートカットを作成することができます。ページを開いたら、そのページのどこでも右クリックするとスクリーンの一番下にメニューが開きます。**[スタートにピン留めする]** をクリックします。

Windows アップデートをチェックするには

チャームを開き、**[設定] > [PC 設定の変更] > [Windows Update]** をクリックします。**[更新プログラムを今すぐ確かめる]** をクリックします。

トラブル対策

この章では、発生する可能性のあるトラブルに対処する方法についてご説明いたします。問題が発生した場合は、技術者に問い合わせる前にこのセクションをお読みください。より 複雑な問題の場合は、コンピュータ内部を開く必要があるかもしれません。お客様ご自身で絶対にコンピュータを開かないでください。販売店または専門のサービスセンターへお問い合わせください。

トラブル対策のヒント

コンピュータは、トラブルの解消を助けるエラーメッセージを表示します。

エラーメッセージが表示されたりトラブルが発生した場合は、「エラーメッセージ」を参照してください。トラブルを解消できない場合は、弊社のカスタマーサポートセンターへご連絡ください。47 ページの「アフターサービスについて」を参照してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージが表示されたら、それを書き出して対処してください。次の表は、エラーメッセージをその対処と合わせてアルファベット順に説明します。

エラーメッセージ	対処方法
CMOS battery bad	弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
CMOS checksum error	弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
Disk boot failure	システム (ブータブル) ディスクを挿入し、<**Enter**> を押してリブートします。
Equipment configuration error	POST の最中に <**F2**> キーを押して BIOS ユーティリティにアクセスしてください。次に **Exit** キーを押して終了し、コンピュータを再設定してください。
Hard disk 0 error	弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
Hard disk 0 extended type error	弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
I/O parity error	弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

エラーメッセージ	対処方法
Keyboard error or no keyboard connected	弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
Keyboard interface error	弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
Memory size mismatch	POST の最中に <**F2**> キーを押して BIOS ユーティリティにアクセスしてください。次に **Exit** キーを押して終了し、コンピュータを再設定してください。

以上のように対処してもトラブルが解消されない場合は、弊社のカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

システムの復元

FAQ（45-47ページ）に記載されている方法によってコンピュータを修復できない場合は、Windowsオペレーティングシステムとプリロードされたソフトウェアとドライバの再インストールが必要となる場合があります。

Acer Recovery Management はリカバリーバックアップの作成、システムを工場出荷時の状態に復元、アプリケーションやドライバの再インストールを行うことができます。また、Windows の回復ツールか作成したリカバリー バックアップを使用するかを選択することもできます。

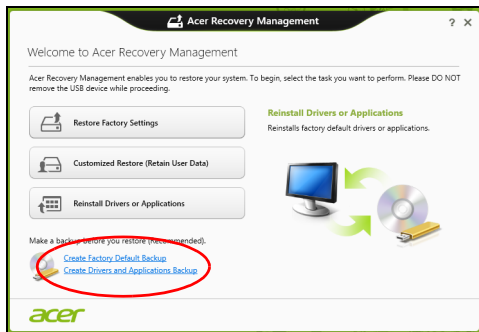
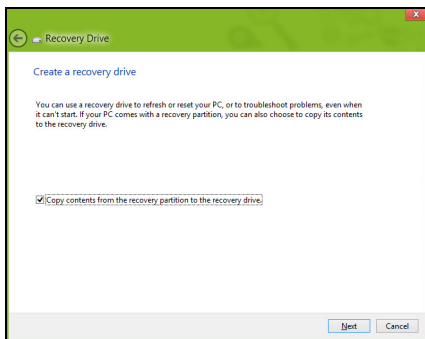
> ***注意*** *: Acer Recovery Management は、プリインストールされた Windows オペレーティングシステムでしか使用できません。*

> **重要 : 必要な場合に確実にコンピュータを復元できるようにするには、できるだけ早くリカバリーバックアップを作成する必要があります。**フルリカバリーをする場合はUSBリカバリーバックアップとキーボード接続が必要です。

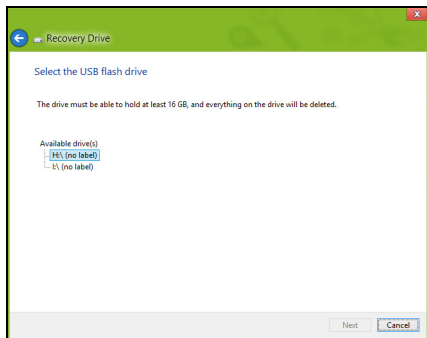
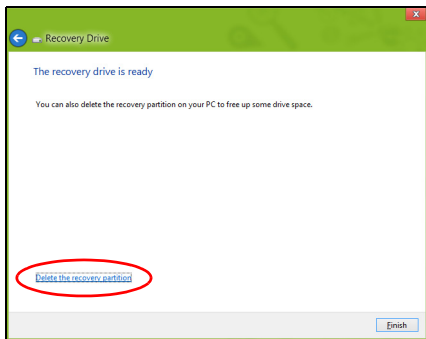
リカバリー バックアップの作成

USB フラッシュドライブからシステムを回復するには、あらかじめリカバリーバックアップを作成しておく必要があります。リカバリーバックアップには、オペレーティングシステムやプリインストールされたソフトウェア、ドライバなど、工場出荷時の内容が全て含まれています。リカバリーバックアップを使用すると、コンピュータを購入時の状態に復元することができます。個人の設定とデータを維持する回復オプションもあります。

注意：USB フラッシュドライブを使用する場合は、16GB 以上の空き領域があり、データが書き込まれていないことを確認してください。

1. **[スタート]** から「Recovery」と入力し、アプリリストで Acer Recovery Management をクリックします。

2. **[デフォルトイメージバックアップの作成]** をクリックします。回復ドライブ作成の画面が開きます。

[回復パーティションを PC から回復ドライブにコピーします。] にチェックが入っていることを確認してください。

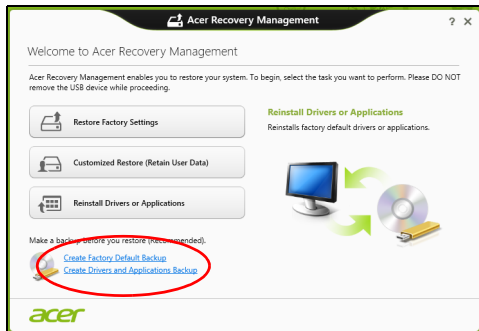
3. USB フラッシュドライブを接続し、**[次へ]** をクリックします。

- 作業を続行する前に、USB フラッシュドライブに十分な容量があることを確認してください。リカバリーバックアップをおこなうには、最低でも 16 GB の容量が必要です。

4. 画面にバックアップの進行状況が表示されます。
5. すべての作業が完了するまで続行してください。
6. リカバリーバックアップを作成した後は、コンピュータ上のリカバリー情報を削除できます。この情報を削除すると、USB リカバリーバックアップを使用しなければコンピュータを復元できなくなります。USB フラッシュドライブを紛失したり、データを消去すると、コンピュータを復元することができなくなります。

7. USB フラッシュドライブを取り外し、油性マーカーで回復ドライブの名称を書き込んでください。

重要：バックアップには、「Windows リカバリーバックアップ」などのように、分かりやすい名称を付けてください。バックアップは安全な場所に保管し、また保管した場所も覚えておいてください。

ドライバとアプリケーションのバックアップを作成

プリロードされたソフトウェアとドライバのリカバリーバックアップを作成するには、ドライバとアプリケーションのバックアップの作成をクリックします。USB フラッシュドライブを使用するか、コンピュータに書込み可能な光学ドライブが搭載されている場合は、空白のブランクディスクを使用してドライバとアプリケーションのバックアップを作成できます。

1. **[スタート]** から「Recovery」と入力し、アプリ リストで Acer Recovery Management をクリックします。

2. **[ドライバとアプリケーションバックアップの作成]** をクリックします。
   USB フラッシュドライブを接続するか、データの書き込まれていない DVD ブランクディスクを光学ドライブに挿入し、**[次へ]** をクリックします。

- 作業を続行する前に、USB フラッシュドライブに十分な容量があることを確認してください。

- 光学ドライブを使用する場合は、バックアップを作成するのに必要なブランクディスクの枚数も表示されます。同じタイプのブランクディスクが必要な枚数分あることを確認してください。

3. **[スタート]** をクリックして作業を開始します。画面にバックアッ プの進行状況が表示されます。

4. 次の手順に従って処理を完了してください。

   - 光学ディスクを使用する場合は、書き込みが完了するとディスクがイジェクトされます。ドライブからディスクを取り出し、油性のマーカーでディスクの名称を記入してください。
     複数のディスクが必要な場合は、指示があったら新しいディスクを挿入して **[OK]** をクリックしてください。すべての作業が完了するまでディスクの書き込みを続けてください。

   - USB フラッシュドライブを使用する場合は、USB フラッシュドライブを取り外し、油性マーカーで名称を書き込んでください。

     重要 : バックアップには、「ドライバとアプリケーションのバックアップ」 などのように、分かりやすい名称を付けてください。バックアップは安全な場所に保管し、また保管した場所も覚えておいてください。

システムの復元

システムを修復するには：

1. ソフトウェアまたはドライバの再インストールを行ってください。
ソフトウェアまたはハードウェアの 1 つか 2 つのアイテムだけが正常に作動しなくなった場合は、ソフトウェアまたはデバイスドライバを再インストールすることによって問題を解決できる場合があります。工場出荷時にプレインストールされていたソフトウェアやドライバを 再インストールするには、**69 ページの「ドライバとアプリケーションの再インストール」**を参照してください。
プリインストールされていないソフトウェアやドライバを再インストールする手順については、製品の説明書またはサポートサイトを参照してください。

2. システムを前の状態に戻します。
ソフトウェアやドライバを再インストールしても問題を解決できない場合は、システムが正常に作動していたときの状態にコンピュータを戻すことによって問題を解決できる場合があります。
手順については、**73 ページの「システムを前の状態に戻す」**を参照してください。

3. システムを工場出荷時の状態に戻します。
どうしても問題を解決できず、システムを工場出荷時の状態に戻したい場合は、**74 ページの「システムを工場出荷時の状態に戻す」**を参照してください。

ドライバとアプリケーションの再インストール

トラブルシューティングの手順として、コンピュータにプリインストールされていたソフトウェアおよびデバイスドライバの再インストールが必要となる場合があります。ハードディスクまたは作成したバックアップのいずれかを使って修復することができます。

- 新しいソフトウェア　ー　コンピュータにプリインストールされていなかったソフトウェアを修復する必要がある場合は、ソフトウェアのインストールの手順に従ってください。
- 新しいデバイスドライバ ー コンピュータにプリインストールされていなかったデバイスドライバを修復する必要がある場合は、デバイスに同梱される説明書の手順に従ってください。

コンピュータに保管された Windows とリカバリー情報を使って再インストールする場合 :

- **[スタート]** から「Recovery」と入力し、アプリ リストで Acer Recovery Management をクリックします。

- **[ドライバまたはアプリケーションを再インストール]** をクリックします。

- Acer Resource Center の 内容 セクションをご覧ください。

- インストールしたいアイテムの**インストール**アイコンをクリックし、画面の指示に従ってインストールを完了してください。
  必要なアイテムをすべてインストールできるまで、この手順を繰り返してください。

DVD または USB ドライブに保管されているドライバとアプリケーションのバックアップから再インストールする場合 :

1. ディスク ドライブに **[ドライバとアプリケーションのバックアップ]** を挿入するか、または [ドライバとアプリケーションのバックアップ] を作成した USB フラッシュドライブを USB ポートに接続してください。
   - DVD を挿入した場合は、Acer Resource Center が起動するまでお待ちください。
     - Acer Resource Center が自動的に開かない場合は、*Windows* キー + <**E**> を押して、光学ドライブ アイコンをダブルクリックします。

- USB ドライブを使用している場合は、*Windows* キー + <**E**> を押して、バックアップが保管されたドライブをダブルクリックします。ResourceCenter をダブルクリックします。

2. Acer Resource Center の 内容 セクションをご覧ください。

3. インストールしたいアイテムのインストールアイコンをクリックし、画面の指示に従ってインストールを完了してください。必要なアイテムをすべてインストールできるまで、この手順を繰り返してください。

システムを前の状態に戻す

Microsoft システムの復元は、定期的にシステムの設定の「スナップショット」を撮影し、それらを復元ポイントとして保存します。修復が難しいソフトウェアの大抵の問題は、これらの復元ポイントの 1 つを使ってシステムを元に戻すことができます。

Windows は毎日追加の復元ポイントを自動作成します。またソフトウェアやデバイスドライバをインストールしたときにもこれを作成します。

復元ポイントに戻るには

1. **[スタート]** から「コントロールパネル」と入力し、アプリ リストで コントロール パネル をクリックします。
2. システムとセキュリティ > アクションセンターをクリックした後、画面の一 番下にある回復をクリックします。
3. システムの復元を開くをクリックした後、次へをクリックします。
4. 最後の復元ポイント (システムが正常に作動していた時点) をクリックし、次へをクリックした後で、完了をクリックします。
5. 確認画面が開きますので、はいをクリックしてください。システムは指定した復元ポイントまで復元されます。この処理が完了するまでには数分かかります。またコンピュータを再起動する必要があるかもしれません。

システムを工場出荷時の状態に戻す

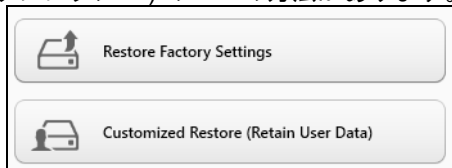
他の方法によってコンピュータを修復できない場合は、すべてを再インストールしてシステムを工場出荷時の状態への復元が必要となる場合があります。ハードディスクまたは作成したリカバリーディスクのいずれかを使って再インストールすることができます。

- まだ Windows を起動可能であり、リカバリー パーティションが削除されていない場合は、**74 ページの「Windows から修復する」**を参照してください。
- Windows を起動できず、元のハードディスクも完全にフォーマットされているか、別のハードディスクが装着されている場合は、**79 ページの「リカバリー バックアップから修復する」**を参照してください。

Windows から修復する

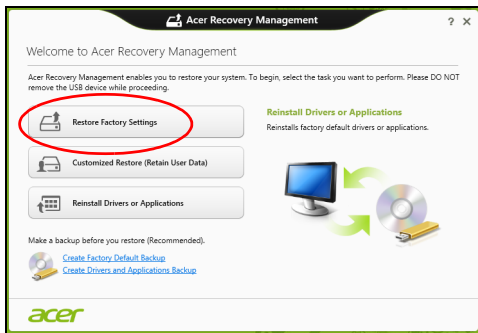
Windows の復元とプリインストールされていたすべてのソフトウェアとドライバを再インストールします。

- **[スタート]** から「Recovery」と入力し、アプリ リストで Acer Recovery Management をクリックします。

修復には、**[オペレーティングシステムを工場出荷時の状態に復元]**(PC を初期状態に戻す) と **[オペレーティングシステムを復元とユーザーデータを保持]**(PC のリフレッシュ) の 2 つの方法があります。

オペレーティングシステムを工場出荷時の状態に復元するとハードディスク上のすべてが削除され、システムにプレインストールされていた Windows とすべてのソフトウェアおよびドライバが再インストールされます。ハードディスク上に重要なファイルがある場合は、修復を実施する前にバックアップを作成してください。具体的な手順は、**76 ページの「Acer Recovery Management で工場出荷時の状態に復元」**を参照してください。

オペレーティングシステムを復元とユーザーデータを保持を実行すると、ファイル (ユーザー データ) は保持されます が、すべてのソフトウェアとドライバが再インストールされます。コンピュータを購入された後にインストールしたソフトウェアは削除されます (Windows Store からインストールされたソフトウェアを除きます)。**78 ページの「Acer Recovery Management で復元」**を参照してください。

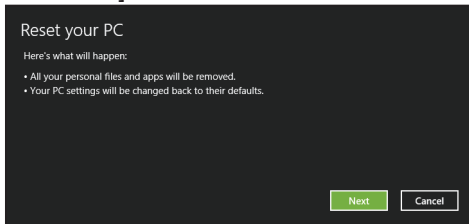
Acer Recovery Management で工場出荷時の状態に復元

1. **[オペレーティングシステムを工場出荷時の状態に復元]** をクリックします。

> ***注意***：*「オペレーティングシステムを工場出荷時の状態に復元」を選択すると、ハードディスク上のすべてのファイルが消去されます。*

2. ご使用のコンピュータに2つのオペレーティングシステムが構成されている場合（一部のシステムのみ）、復元する対象を Windows 7 または Windows 8 から選択するウィンドウが開きます。Windows 7 を選択した場合は、コンピュータは再起動後、Windows 7 を復元します。Windows 8 を選択した場合は、以下で説明するように [PC を初期状態に戻す] の画面が開きます。

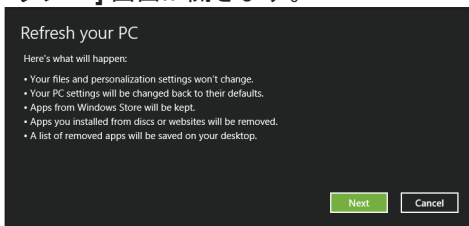
> ***注***：*Windows 7 から移行して、Windows 8 の機能を十分に活用するには、BIOS に移動して (コンピュータの起動時に* ***<Fn>*** *+* ***<2>*** *キーを押します)、[Boot Mode] を* ***[UEFI]*** *に変更します。Windows 7 を再*

*インストールする場合は、[Boot Mode] を **[Legacy]** に戻してから、コンピュータを再起動する必要があります。*

3. [PC を初期状態に戻す] の画面が開きます。

4. **[次へ]** をクリックし、ファイルをどのように消去するかを選択します。
   a. **[ファイルの削除のみ行う]** を選択すると、コンピュータを復元する前に すべてのファイルを消去します。この所要時間は約 30 分です。
   b. **[ドライブを完全にクリーンナップする]** を選択すると、ファイルの削除だけでなく、ドライブを完全に消去します。消去したファイルは簡単に復元できなくなるので、セキュリティが高まりますが、処理に最大で 5 時間かかります。
5. **[リセット]** をクリックします。
6. コンピュータを再起動すると復元処理が開始され、続いてファイルがハードディスクにコピーされます。
7. 復元が終了した後は、初回スタートの手順を繰り返すことでコンピュータを使用できるようになります。

Acer Recovery Management で復元

1. [オペレーティングシステムを復元とユーザーデータを保持] をクリックします。

2. [PC のリフレッシュ] 画面が開きます。

3. [次へ] をクリックした後、[リフレッシュ] をクリックします。
4. コンピュータを再起動すると復元処理が開始され、続いてファイルがハードディスクにコピーされます。復元の所要時間は約 30 分です。

リカバリー バックアップから修復する

USB フラッシュドライブのリカバリー バックアップから復元するには

1. リカバリー バックアップ作成したUSB フラッシュドライブを用意します。
2. キーボードが接続されていない場合は必ずキーボードを接続してください。
3. USB フラッシュドライブを接続し、コンピュータの電源を入れます。
4. まだ有効になっていない場合は、F12 ブート メニューを有効にする必要があります。
   a. コンピュータを起動中<**F2**> キーを押して、BIOSユーティリティにアクセスしてください。
   b. 左右矢印キーを使って Main メニューを選択します。
   c. F12 Boot Menu が選択されるまで下矢印キーを押し、<**Fn**> + <**5**> キーを押 してこの設定を Enabled (有効) に変更します。
   d. 左右矢印キーを使って Exit (終了) メニューを選択します。
   e. コンピュータの BIOS の種類によって、**[Save Changes and Exit]** または **[Exit Saving Changes]** を選択した後、Enter を押します。[**OK**] または **[Yes]** を選択して確定してください。
   f. コンピュータが再起動します。
5. スタートアップ中に <**F12**> キーを押すとブートメニューが開きます。ブートメニューでは、スタートするデバイス (ハードディスク、光学ディスク、USB ディスク) を選択できます。
   a. 矢印キーを使って **[USB Device]** を選択し、Enter を押します。

b. Windows が通常のスタートアップを行わずに、リカバリーバック アップから起動します。

6. ご使用のキーボードのタイプを選択します。

7. **[トラブルシューティング]** を選択し、復元のタイプを選択します。

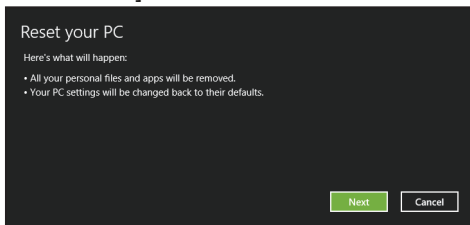
a. **[詳細オプション]** をクリックし、**[システムの復元]** をクリックすると、システムの復元が起動します。Microsoft システムの復元は、定期的にシステムの設定の「スナップショット」を記録し、それらを復元ポイントとして保存します。修復が難しいソフトウェアの大抵の問題は、これらの復元ポイントの 1 つを使ってシステムを元に戻すことができます。

b. **[PC を初期状態に戻す]** をクリックし、リセットを開始します。
[PC を初期状態に戻す] を実行するとハードディスク上のすべてが削除され、システムにプリインストールされていた Windows とすべてのソ フトウェアおよびドライバが再インストールされます。ハードディス ク上に重要なファイルがある場合は、まずそれらをバックアップし てください。**81 ページの「リカバリー バックアップから PC を初期状態に戻す」** を参照してください。

c. **[PC のリフレッシュ]** をクリックし、リフレッシュを開始します。
[PC のリフレッシュ] を実行すると、ファイル (ユーザー データ) は保持されますが、すべてのソフトウェアとドライバが再インストールされます。
コンピュータを購入された後にインストールしたソフトウェアは削除されます (Windows Store からインストールされたソフトウェアを除きます)。**82 ページの「リカバリー バックアップから PC のリフレッシュ」** を参照してください。

リカバリー バックアップから PC を初期状態に戻す

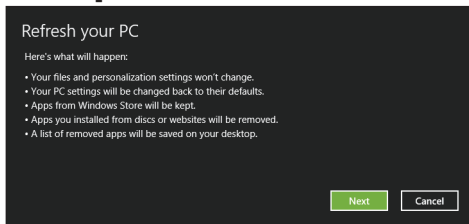
***注意**：PC を初期状態に戻すと、ハード ドライブ上のすべてのファイ ルが消去されます。*

1. T[PC を初期状態に戻す] の画面が開きます。

2. **[次へ]** をクリックします。
3. 復元するオペレーティング システムを選択します (通常は 1 つのオプションしかありません)。
4. ハード ドライブへの変更を維持する
   a. リカバリー パーティションを削除した場合、またはハードドライブのパーティションを変更してしまった場合、これらの変更内容を維持するには、**[いいえ]** を選択します。
   b. コンピュータを初期設定に復元する場合は、**[はい]** を選択します。
5. ファイルの消去方法を選択
   a. **[ファイルの削除のみ行う]** を選択すると、コンピュータを復元する前に すべてのファイルをすばやく消去します。復元の所要時間は約 30 分です。

b. **[ドライブを完全にクリーンナップする]** を選択すると、ファイルの削除だけでなく、ドライブを完全に消去します。消去したファイルは簡単に復元できなくなるので、セキュリティが高まりますが、処理に最大で 5 時間かかります。

6. **[リセット]** をクリックします。
7. 復元が終了した後は、初回スタートの手順を繰り返すことでコンピュータを使用できるようになります。

<u>リカバリー バックアップから PC のリフレッシュ</u>

1. **[PC のリフレッシュ]** 画面が開きます。

2. [次へ] をクリックします。
3. 復元するオペレーティング システムを選択します (通常は 1 つのオプションしかありません)。
4. **[リフレッシュ]** をクリックします。
5. コンピュータを再起動すると復元処理が開始され、続いてファイルがハードディスクにコピーされます。復元の所要時間は約 30 分です。

BIOS ユーティリティ

BIOS ユーティリティはコンピュータの BIOS に組み込まれた、ハードウェア構成プログラムです。

コンピュータは、すでに正確に設定されているので、セットアッププログラムを実行する必要はありません。しかし、設定に問題がある場合は、セットアッププログラムを実行することができます。

音量調整スイッチのボリュームダウン側を押しながら電源ボタンを同時に押して、BIOS ユーティリティにアクセスしてください。

> ***注意***：*BIOS ユーティリティの Boot メニュー、Boot Type の設定を [UEFI] から変更しないでください。設定を変更すると Windows が起動しなくなります。*

起動シーケンス

BIOS ユーティリティで起動シーケンスを設定するには、BIOS ユーティリティをアクティブにし、画面の上に一覧表示されたカテゴリから **Boot** を選択します。

パスワードの設定

起動時にパスワードを設定するには、BIOS ユーティリティをアクティブにし、画面の上に一覧表示されたカテゴリから **Security** を選択します。**Password on boot**：を探しこの機能を有効にしてください。

規制と安全通知

FCC 規定

この装置は、FCC 規定の第 15 条に準じ、Class B デジタル機器の制限に従っています。これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。本装置はラジオ周波数の電波を発生、使用し、さらに放射する可能性があり、指示にしたがってインストールおよび使用されない場合、ラジオ通信に有害な障害を与える場合があります。

しかしながら、特定の方法で設置すれば障害を発生しないという保証はいたしかねます。この装置がラジオや TV 受信装置に有害な障害を与える場合は (装置の電源を一度切って入れなおすことにより確認できます)、障害を取り除くために以下の方法にしたがって操作してください。

- 受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変える
- この装置と受信装置の距離をあける
- この装置の受信装置とは別のコンセントに接続する
- ディーラーもしくは経験のあるラジオ /TV 技術者に問い合わせる

注意：シールドケーブル

本製品にほかの装置を接続する場合は、国際規定に準拠するためにシールド付きのケーブルをご使用ください。

注意：周辺機器

この装置には Class B 規定に準拠した周辺機器 (出入力装置、端末、プリンタなど) 以外は接続しないでください。規定に準拠しない周辺機器を使用すると、ラジオや TV 受信装置に障害を与えるおそれがあります。

> ***警告 :*** メーカーが許可しない解体や修正を行った場合は、FCC が規定するこのコンピュータを操作するユーザーの権利は失われます。

LCD ピクセルについて

LCD ユニットは、極めて精密な製造テクノロジーで生産されています。しかし、ピクセルが黒または赤などの明るい色のドットとして表示されることがあります。

これは、記録されているイメージには影響がなく、欠陥ではありません。

規制についての注意

> *注意： 次の規制情報は、ワイヤレス LAN および Bluetooth 対応モデルのためのものです。*

ライセンスを取得したサービスの電波障害を防ぐために、このデバイスは室内で使用するよう設計されています。

本製品はワイヤレス機能の使用が認められた国および地域における、ラジオ周波数および安全規格に準拠しています。設定によって、本製品にはワイヤレスラジオ装置 (WLAN/Bluetooth モジュールなど) が含まれる場合と、含まれない場合があります。次の情報はこのような装置が含まれる製品のためのものです。

欧州連合諸国向け適合宣言

Acer は、このノートパソコンシリーズが指令 1999/5/EC の必須条件と、その他の関連条項に準拠していることを、ここに宣言します。(完全な文書については、global.acer.com/products/notebook/reg-nb/index.htm をご覧ください。)

適用国リスト

2009 年 7 月現在の欧州連合の加盟国は次の通りです : ベルギー、デンマーク、ドイツ、ギリシャ、スペイン、フランス、アイルランド、ルクセンブルグ、オランダ、オーストリア、ポルトガル、フィンランド、スウェーデン、英国、エストニア、ラトビア、リトアニア、ポーランド、ハンガリー、チェコ共和国、スロバキア共和国、スロベニア、キプロス、マルタ、ブルガリア、ルーマニア。ヨーロッパ連合、ノルウェイ、スイス、アイスランド、リヒテンシュタインなどの国で使用することができます。このデバイスは、使用する国の規制と制約を遵守してご使用ください。詳細については、使用する国の地方事務所にお問い合わせください。最新国のリストについては、ec.europa.eu/enterprise/rtte/implem.htm を参照してください。

カナダ - 低出力ライセンス免除無線通信

デバイス (RSS-210)

a. 一般情報

以下の 2 つの使用条件があります :

1. 電波障害を起こさないこと。
2. 誤動作の原因となる電波障害を含む、すべての受信した電波障害に対して正常に動作すること。

b. 2.4GHz 帯での使用

ライセンスを取得したサービスの電波障害を防ぐために、このデバイスは室内で使用します。屋外に取り付けるにはライセンスが必要です。

c. 5GHz 帯での使用

- 帯域 5150 〜 5250MHz のデバイスは、同一チャンネルモバイル衛星システムに障害をおよぼす可能性を削減するために、室内でのみ使用します。
- 高出力レーダーは、5250 〜 5350MHz 帯域および 5650 〜 5850MHz 帯域の一次ユーザー (優先権を持っているユーザー) として割り当てられており、レーダーが電波障害を起こし、LELAN(ライセンス免除ローカル地域通信網) デバイスを破損することがあります。